



なないろ

いつも虹の家の経営への温かなご理解とご協力をたまわりまことにありがとうございます。今年度の虹の家の事業所評価について最終とりまとめができましたのでお知らせ致します。利用者の皆さんと職員で評価致しました。来年度に向けて経営の改善を図り、充実が図れますよう利用者様と全職員で力を合わせて取り組んでまいります。

目指す利用者様像と具体的な取組み

作業

「進んで作業に取り組む利用者様」

A

前年度よりも高い工賃（15,052円以上）を目指します。 A

- 高い工賃単価の企業を開拓します。 B
- 既存作業の手順を見直し、効率を高めます。 A
- 目標工賃の達成のために会議を行い、PDCAサイクルを回します。 B



・作業単価について企業と積極的に交渉し、高い単価に改善できた企業が数社あった。さらに、事業者内においても実習の他にも事業所独自の加算を付けたことで積極的に参加する利用者が増えました。

「できる作業が増えた」「上手に作業できるようになった」と肯定的評価をする利用者様を80%以上にします。 A

- 作業におけるつまづきを見極め、個別に作業方法を提供します。 A
- 新しい作業に携わる機会を提供し、作業方法を丁寧に伝えます。 A
- 作業意欲を高めるために「褒める」等の支援を行います。 A

・「新しい作業が増えた」「上手にできるようになった」ことは、利用者様の特性に応じた作業を提示して選択してもらい取り組んでもらったことが大きな要因と考えられます。また、治具の活用や職員の賞賛の声掛けによって利用者様の皆さんの挑戦意欲に繋がったと思います。



・利用者様が作業の充実感を実感できるように「完成数」「出来るようになった作業」等を知らせたことが挑戦意欲を高めました。

新しい作業を行う際、担当利用者様を集めて手順書などを活用して丁寧に説明しました。このことが作業理解に繋がったと思います。



かかわ

「思いやりのある利用者様」

A

目標1

「自分や他の利用者様のよさがわかった」の肯定的評価をする利用者様の割合を80%以上にします。

A

- 自治会活動や作業等において利用者様同士がかかわり合う活動場面を設定し、仲間のよさがわかるようにします。A
- 利用者様同士がお互いの良さを認め合う機会を設けます。A
- 利用者様が活躍する場面設定をし、活躍を紹介する機会を設けます。A



・「利用者さんのいいところを褒めましたか。」の質問に対して76%の利用者の皆さんが「褒めた」と回答しました。お互いの良いところを見つけて褒め合うことを事業所の目標に挙げています。組の朝礼時に紹介し合ったり、具体例を出し合ったりして意識を高めたことが良い影響を及ぼしたと推察しています。

目標2

進んであいさつをしたり、返したりしている利用者様を85%以上にします。

A

- あいさつについて話し合う機会を設けます。A
- 職員から率先してあいさつをします。A

・職員アンケートで職員から率先して挨拶したことが有効であったとの回答が多く挙げられました。自治会の活動は、コロナ感染予防の影響もあって活動できなかったが朝礼での話し合いや職員の働きかけによって活性化したように思います。



健康

「心身ともに健康な利用者様」

B

目標1

体を動かす機会を提供し、「運動をたくさんした」と感じる利用者様を80%以上にします。

B

- 多様な運動を紹介し、利用者様が好きな運動を選択できるように支援します。B
- 楽しんで運動に取り組むことができる方法を提案します。A
- 多様な運動を紹介し、利用者様が好きな運動を選択できるように支援します。B



・たくさん運動したと回答した利用者様は、48%、しなかったの回答が23%でした。新採用職員が昼休み一緒に運動したと良い影響になったようである。職員の運動に対する意識が希薄であったと考える。

目標2

新型コロナウイルス感染予防（手洗い、消毒、検温、マスク着用、黙食）をできたと感じる利用者様を80%以上にします。

B

- 検温・マスク着用・うがい手洗い・消毒についてできたか確認し、促します。A
- 事業所外での感染予防について、図示やロールプレイ等わかりやすく伝えます。B

・法人全体で推進し、事業所に合った具体策を講じ職員、利用者、保護者で連携して取り組んだことが成果を上げたと確信しています。事業所外での対応は、口頭でと文書配布のみでそれ以外はできませんでした。利用者様の実態を確実に把握することはできませんでした。

